

# 新年のご挨拶

全国間税会総連合会会長 大谷信義



令和3年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、旧年中、当連合会の運営につきまして、ご理解とご尽力を賜り有難うございました。

また、国税ご当局の皆様には、当連合会に対しまして、深いご理解と多大なご支援を賜り誠に有難うございました。厚く御礼を申し上げます。

昨年は、世界的に新型コロナウイルス感染症との闘いの一年とも言える大変な年でした。我が国でも経済活動や国民生活の自粛が強く求められ、社会経済活動に甚大な影響をもたらす極めて厳しい状況となり、現在も続いております。

引き続き、「マスクの使用」や「手洗いの励行」、そして「新しい生活様式」に努めるとともに、一日も早くワクチンや治療薬が開発され、新型コロナウイルス感染症対策が充実し沈静化されることを期待しております。そして7月末からの東京オリンピック・パラリンピックが予定通り開催され、日本経済の回復起爆剤になることを強く願っております。

また、我が国の政局を見ますと、約8年余り政権を担ってきました「安倍政権」から「菅政権」へ代わるとともに、米国でもトランプ大統領からバイデン大統領へ交代することが予定されていることから、今後の外交諸課題に対する「米国政府」の取組姿勢が世界的に注目されているところです。

「菅政権」には、日米間の良好な関係を堅持しつつ、国内外の諸課題に対し、国益に叶った経済政策・外交政策を適時・適切に講じていただき、国民にとって安全で安心して暮らせる社会になりますよう強く期待しております。

全間連では、平成26年4月以降の消費税率の引上げに伴い、消費税の会である間税会の果たすべき役割が、益々、高まってくるとの認識の下、平成26年4月以降の6年間において最重点施策を3点（①消費税完納運動の

更なる推進、②消費税の啓発活動等の拡充、③会員増強による組織拡大等）決定し、より積極的な取組みを展開するようお願いしてきた結果、それ相応の成果を挙げていただきましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

その間、全間連が導入に強く反対して参りました消費税の軽減税率制度が令和元年10月から消費税率10%への再引上げに併せて実施されるとともに、令和5年10月から仕入税額控除の仕組みが「区分記載請求書等保存方式」から、いわゆる「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」に改められるなど、消費税制度も新たな時代を迎えました。

間税会としましては、引き続き、消費税を始めとする「税に関する周知・啓発活動」や、関係者から高い評価をいただいております「世界の消費税」図柄刷込みクリアファイル等の配布活動と「税の標語」の募集活動、更には消費税の期限内納付に関する活動などを積極的に展開することにより、間税会の仲間を増やし、組織の活性化と拡大に努めて参りたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

また、e-Taxの利用促進や、マイナンバー制度の適正利用と周知活動にもご尽力を賜りますようお願い致します。

なお、間税会活動に当たっては、引き続き、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、国税ご当局からの助言や感染リスクの回避策を講じるなど、適切に対応していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄、各局間連及び傘下間税会並びに業種団体の益々のご発展を祈念しております。

また、国税ご当局の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたしますとともに、当連合会及び傘下団体の運営につきまして、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。